罰則強化など 土法改正に向け提言

建築士制度改善で国交省に要望書

日本建築士会連合会

日本建築士会連合会（宮本忠長会長）は6日、建築士制度の改善を求める要望書を国土交通省に提出した。検討が始まっている建築士法改正の中に、違反行為に対する罰則の強化や、管理建築士の責任明確化と資格要件の強化などを盛るよう要請。設計や工事監理の実務に携わる建築士の建築士会などへの加入の義務化も必要との考えを示した。

マンションなどの構造計算書の偽造問題を受け、建築士団体の立場から、再発防止と信頼回復のための方策を提言。社会資本整備審議会建築分科会基本制度部会で検討している建築士法などの改正議論に、提言内容を反映させることを目指す。

提言書の提出後に会見した宮本会長は、現行の建築士法について、法律の基本システムには問題がないとの認識を提示。一方で、実際の運用面では改善点が少なくないと指摘し、「法律を補完するシステムを整えるための法・制度改正が必要」とした。

具体的な提言では、法改正で対応すべき点として、①違反行為などに対する罰則の強化、懲戒処分者の公表②管理建築士の責任の明確化と資格要件の強化③受験資格の実務経験の適正化④建築設計事務所への設計賠償保険制度の加入の義務化―を挙げた。

このほか、同連合会と各建築士会が取り組んでいる専攻建築士制度とCPD（継続能力開発）制度については、国に「何らかの支えが欲しい」と要望。これらの制度を「社会的クアップするよう求めた。

また、建築士の建築士会などへの加入率を高めることが、情報の伝達や倫理の順守徹底につながるとの認識から、「少なくとも、業として報酬を得ている建築士（設計・工事監理の実務に携わる建築士）については、建築士会など建築団体への加入を義務化することが必要」とし、制度改正などの対応を要望した。

建築CAD検定試験

30日から受け付け

AACL

中間法人全国建築CAD連盟（AACL）は、4月に実施する「建築CAD検定試験」の一般受験の申し込みを1月30日から2月27日まで受け付ける。

実践型のCAD資格試験として日本で初めて実施された同検定試験は、建築CADオペレーターの技能レベルを特定するもので、汎用CADを使用した実技試験による建築図面の正しい理解力などを確認する。

試験は、学校単位で受験する団体受験（4・7・10・1月）とCADユーザーや学生が個人で受験する一般受験（4・10月）があり、自宅受験も可能。自宅受験は、インターネットとWebカメラ（カメラ会議システム）を使って実施（Webカメラは受験者自らが購入・取り付ける）。

受験料は1万円。認定証や認定書の発行手数料は別途必要。詳細はホームページ（http://www.aacl.gr.jp/）に掲載。

建設マネジメントフォーラム

2月設立 参加を呼び掛け

に、「建設ハード及びマネージメント技術をどのように伝承していけばいいのか―を幅広い分野から調査研究し、その結果をもって地元建設業者の発展に貢献することを目的にした「建設マネジメントフォーラム・CMF）」が2月にも設立される予定だ。

同フォーラムでは、術をどのように伝承していくかなどを中心に①建設マネージメントへIT技術を活用するための方策②技術者の世代の育成など」に強調紀を支えてきた建設技徴されるように、20世

・中小建設業者、地場建設業者らの要望に対し、技術の伝承や適用拡大など支援することが主な活動内容

会の開催―など。中堅の事業、研修会、講演

県労働災害防止研修会

来月24日、鹿児島市で

県労働基準協会

18年県労働災害防止研修会（主催・県労働基準協会、後援・鹿児島労働局）が2月24日午後1時から、鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で開かれる。参加は無料だが、2月15日まで申し込みが必要。

当日は、本県の労働災害の現状（鹿児島労働局）、わが社の安全管理（小川正徳日本特殊陶業㈱自動車関連事業本部宮之城製造部事務課長）、JR西日本の電車転覆事故に学ぶ（内田巌氏）の講演などがある。

問い合わせは、県労働基準協会（☎099・226・3621）まで。

農業プラン21

27日まで意見募集

鹿児島市

鹿児島市は27日まで、「同市農業プラン21」見直しに伴うパブリックコメントを募集する。

同市は14年7月、「連帯感に支えられた豊かな都市型農業・農村地域の振興」を目標とする同プランを策定。16年11月に周辺5町と合併し、同市の農業を取り巻く環境が大きく変化したことから同プランの見直し作業を行っている。見直し案は、市ホームページなどで公表している。

意見等の提出、問い合わせは、鹿児島市農政課（☎099・216・1334 FAX216・1336）まで。

知事と語ろ会

19日、日置市で

第14回「知事と語ろ会」が19日午後7時から、日置市の中央公民館で開かれる。参加は自由。

勝建設・勝和会

20日、安全衛生会議

㈱勝建設・勝和会は20日午後1時から、鹿児島市のグランラセーレ鹿児島で安全衛生会議を開く。

本社来訪

＝年賀＝

満尾裕一氏（南九地質㈱代表取締役）西園政則氏（同専務取締役）▽伴和夫氏（㈱佐電工代表取締役専務）吉原一成氏（同鹿児島営業所長）▽鉾之原拙夫氏（テクノ冷熱㈱取締役会長）阿比留誠氏（同営業部長）▽染川泰彦氏（㈲ワイエス・プランニング代表取締役）▽中原孝氏（大同生命保険㈱鹿児島支社第二営業課）

木蔭

石岡 美奈子

アナログのチカラとデジタルのチカラ

ここ10年ほどの間で爆発的に普及したインターネット。

大変便利なものが登場し、私たちの生活や仕事のインフラ（基盤）となっている。実際インターネットを使うと世界が広がり、ネットサーフィン（インターネットという波乗り）はおろか最近はRSS（アールエスエス）というもので情報は向こうからやってくる時代。大変便利なものだ。

またブログ（日記風簡易ホームページ）というものが今から8年ほど前にアメリカで登場。同時多発テロで爆発的に広がり、日本では社長ブログなどで会社のトップに立つ方の個人的見解を与える機会として、ブログを利用したことから大ブレイクして今日に至っている。ブログに書かれたことを読むことにより信頼や共感を得、今やブログで取引先を見つけたり、また恋人を見つけたり、結婚に至る方もいる。時代の流れでインターネットならではの貴重な情報であるが、考えてみると本当に不思議なものだ。

ただのパソコンや携帯電話と思うことなかれ。今やパソコンを使って商売をしたり、在宅で仕事をしたりする時代。パソコンがお店になり、仕事場になり、入札会場にもなり、現場にもなる。仕事の形態も大きく様変わりしている。

ただ一方、コンピューターによる弊害もある。まず漢字を忘れる。形は大体思い出すがきちんと書けない。計算を忘れる。計算は便利なコンピューターがしてくれるから頭や手を使わなくなってしまっている。また鉛筆や箸の握り方がおかしい。なども現れる。

コンピューター時代でも「読み・書き・そろばん」は非常に大事だと痛感する毎日である。やはりどんな便利な時代になっても私たちは目や口、耳で見たり聞いたりし、手で書いたり計算をしたりし、頭で考えていくことが重要。

インターネットは「時間と距離の短縮」「コストが安い」などで大変注目を集めているし、インターネットにかかわる技術は日進月歩はおろか秒進分歩のごとく変わっている。ただ情報の波に振り回されず、本当に役立つものだけを生活や仕事に取り入れることが必要。デジタル（コンピューターなど）が進んでいく中、ますますアナログ力（人のチカラ）が大事になってくる。

このアナログ・デジタル両方ある時代に上手に取り入れていきたいものである。

（MINE代表・ITコンサルタント）

九州7県の建設情報をネットワークで結ぶウェブ九州誕生！！

◆Web九州 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島の九州7地区の情報を網羅する入札情報配信サービス

◆Web福岡 福岡県内の国・県・市町村の建設関連の情報を網羅する建設ネット

無料体験キャンペーン実施中！！ kyusyu@web-kyusyu.com

有限会社ウェブ九州 〒812-0017 福岡市博多区美野島3丁目13-2 TEL 092(414)0160・FAX 092(414)0169 URL:http://www.web-kyusyu.com